



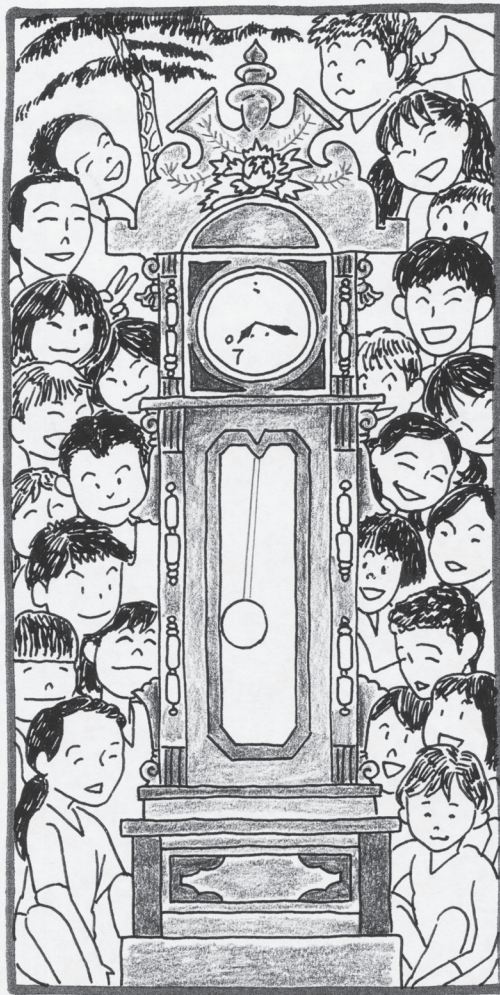
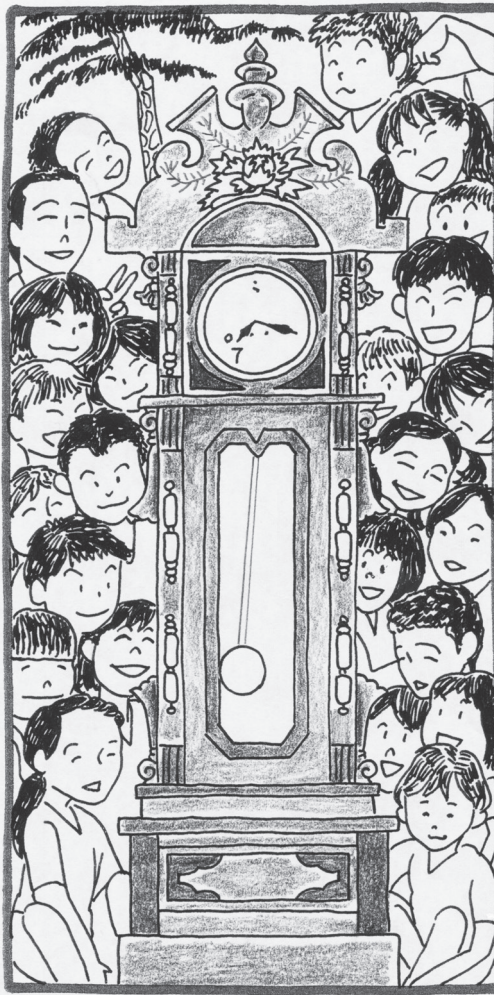
クイズまちがいがし

2枚の絵を見くらべて、まちがいを8カ所見つけてね。全問正解された方のうち、抽選で10人の方にクオカードをプレゼントします。

秘書広報課 ☎ 66♦1145

応募方法

ハガキまたはファックスに①答え(左の絵に○をつける)②住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤電話番号⑥広報紙の感想、「ご意見など」を書いて秘書広報課(〒443-8660 1 FAX 66♦1190)へ。当選者と答えは、広報がまごおり1月号に掲載します。



学校のふしぎ話

『ある小学校の大時計』

学校には2つの顔があります。1つはエネルギーにあふれる明るい昼の顔。もう1つは、誰も知らない夜の顔。蒲郡にはこの2つの顔を見ることのできる不思議なみかん仙人がいるそうです。

私がこの小学校で暮らし始めてから、何年になるだろう。あの日、大時計の私はできたばかりの公民館兼小学校講堂へ運ばれ、舞台の横の台の上に置かれました。見晴らしのいい台の上から子ども達を見て振り子を思いっきり振りました。

翌年、東京から花山信勝師がこの講堂へおいでくださいました。私は花山師のお話を子ども達と一緒に聞きました。お話は、この前の戦争で指導者として処刑された七人の最期の数分間を、花山師が教師として見とけたものでした。お話を聞きながら、今この時がズッシリと感じられ、振り子が重くなった気がしました。

春になると新入生が講堂に並び、その子達がだんだん慣れて、やんちゃになって、たくましくなつていきます。気がつくとも小さな新入生に私を大事にしりんよ。とか、いろいろ大切なことを教えています。

ずっと一緒にいたいのに、子どもたちは卒業していつてしまい、代々の歴史がつづられた卒業証書台帳に名前が残っていくんだなあ……。

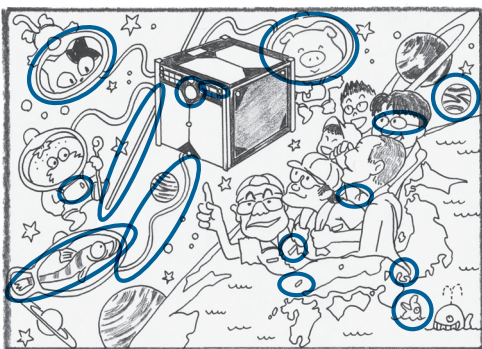
懐かしい子ども達の名前を呼ぼう・ポーン
平和の重さをかみしめて・ポーン
渡り廊下の赤松くんが、向きを変えて伸びている・ポーン
私が講堂から玄関へ引越してきたよ・ポーン

赤松くんさよなら・ポーン
文字がだいぶ消えたけど、私の顔をピカピカに拭いてくれてありがとう・ポーン

思いついたときに・ポーン・ポーン

夜の職員室、O先生とみかん仙人「うわっ！みかん仙人、大時計が鳴ったよね！今は・7時18分……」
「確かに鳴ったの？O先生！肝冷やしたわい。おい大時計のじい様、昔の子ども達を呼んどのかね？」
……ポーン

◆ 9月号の答え 「希望の人工衛星」



9月号当選者 応募総数 74通 正解者44人(50音順・敬称略)
小笠原 八千代(形原町) 加藤 羽菜(府相町) 河井 里美(水竹町) 河井 裕美(宮成町) 児玉 栄一(竹谷町)
鈴木 美紀子(形原町) 中山 いろは(大塚町) 原 真規子(三谷町) 平野 有美子(清田町) 本多 昌明(拾石町)